
西南支部ニューズレター（43号）

2014年2月17日

<内 容>

1. 2013年度支部総会報告
 2. 2013年度支部例会(九州沖縄地区合同シンポジウム)報告
 3. 2013年度支部役員
 4. 後記
-

1. 2013年度支部総会報告

日時：2013年12月13日（金） 11時40分～12時40分

場所：佐賀大学本庄キャンパス 理工学部1号館 210講義室

出席者：松野健，堤英輔，中村啓彦，滝川哲太郎，久木幸治，広瀬直毅，山田東也，加納裕二
万田敦昌，井上博敬，藤本敏文

1. 報 告

1) 2013年度事業報告

①シンポジウム開催案内

- ・JOSニューズレター，海と空，水産海洋研究に掲載.
- ・各学会のホームページ，メーリングリスト等でのシンポジウムの周知.

②西日本海洋調査技術連絡会で「西日本地区大学・水産大学の平成25年度海洋調査実施状況と平成26年度実施計画」を報告（12月12日）

③支部例会の開催：海洋気象学会，水産海洋学会と共催で地区合同シンポジウムを開催（12月13日）

テーマ：「九州周辺沿岸域における海洋フロント」

コンビナー：速水祐一（佐賀大低平地沿岸海域研究センター）・松野健（九大応力研）

④支部ホームページの更新、維持管理

URL <http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/oed/swb/swb.html>

管理者：市川香会員(九大応力研)

2) 会計報告

| | |
|----------------|----------|
| ●収 入 | 10,872 円 |
| 前年度繰越金 | 10,872 円 |
| ●支 出 | 0 円 |
| ●残 金 (12/13現在) | 10,872 円 |

2. 議 題

- 1) 2013 年度事業計画 (12 月以降)
ニュースレター43 号の発行
- 2) 平成 27 年度例会担当幹事 (1 名) の選出
万田敦昌会員 (長崎大学)

以下, 2014~2015 年度役員幹事のリスト

- 支部長: 山城 徹 (鹿児島大学)
- 副支部長: 宮地邦明 (水産大学校・名誉教授)
- 事務担当幹事: 中村啓彦 (鹿児島大学)
- 水産海洋学会担当幹事: 山田東也 (西海区水研)
- 海洋気象学会担当幹事: 藤本敏文 (福岡管区气象台)
- 平成 26 年度例会担当幹事: 久木幸治 (琉球大学)
- 平成 27 年度例会担当幹事: 万田敦昌 (長崎大学)

3. 2013 年度支部例会(九州沖縄地区合同シンポジウム)報告

テーマ: 九州周辺沿岸域における海洋フロント

共催: 日本海洋学会西南支部・海洋気象学会・水産海洋学会

日時: 2013 年 12 月 13 日 (金) 10:40~17:00

場所: 佐賀大学本庄キャンパス 理工学部 1 号館 210 講義室

コンビナー: 速水祐一 (佐賀大低平地沿岸海域研究センター)・松野健 (九大応力研)

2013 年 12 月 13 日, 佐賀大学において, 九州沖縄地区合同シンポジウムが開催された. 参加者は主として大学ならびに試験研究機関から 48 名, 研究発表は基調講演 1 件と一般講演 12 件であった. 冒頭にコンビナーの速水祐一氏から, 九州沿岸は基本的な海流・水塊分布を描写するのが困難な海域とされているので, 今回のシンポジウムを通して, 九州沿岸の海洋フロントについて俯瞰, 整理してみたいといった趣旨説明がなされた.

基調講演として, 愛媛大学 CMES の磯辺篤彦氏から, 河口域から陸棚域に至る沿岸海洋の動的構造を理解するための「素領域論」が提示され, 素領域論における海洋前線の位置づけが解説された. 素領域論では, 沿岸海域をいくつかの素領域 (河口域, ROFI, 混合域, 成層域, 境界域など) に区分し, 素領域の形成過程, 素領域内の海水循環, 素領域間の海水交換 (熱・物質交換) を探求する. その際, 素領域の境界を成す各種海洋前線の物理過程は中心的研究課題となること, 実例を持って示された. 上記の基調講演に続いて行われた一般講演では, 本シンポジウムのテーマ「九州周辺沿岸域における海洋フロント」に沿い, トカラ海峡, 五島灘, 対馬海峡, 日向灘, 豊後水道, 瀬戸内海といった九州周辺海域での海洋構造と生物生産, さらに東シナ海・黄海の外洋域での海洋構造に関する話題が報告された.

最後に行われた総合討論では, シンポジウムの趣旨に沿って, 一般講演での報告をまとめて九州沿岸の海洋フロントの描像を整理できないかが議論された. この議論では, 動的な変動を伴う海洋フロント (例えば 10 日程度の変動を伴う黒潮フロント) を静的に描画することは本質的に無理ではないかといった意見が出された反面, 漁業者にとっては海域・季節別の海洋フロント構造の概念図はとても有益であるといった意見が出された. 以下に題目と講演者を示す.

【基調講演】

「沿岸海洋の「素領域」構造と海洋前線の位置づけ, および九州沿岸での適用について」

磯辺篤彦 (愛媛大学沿岸環境科学 研究センター)

【一般講演】

「西部瀬戸内海の潮汐フロント形成域における海盆部への栄養塩供給機構の季節変化」

小森田智大 (熊本県立大学環境) ほか

「豊後水道における瀬戸内海水の流出経路」 田村勇司 (大分県農林水産研究指導センター) ほか

「日向灘で観測された海洋フロント」 渡慶次力 (宮崎水試) ほか

「九州南西沖の黒潮フロントの変動特性—『フェリーなみのうえ』 ADCP 流速データセットの解析—」

中村啓彦 (鹿児島大学水産学部) ほか

「海洋数値モデル結果からみた九州西方域の海況場」 高山勝巳 (九州大学応用力学研究所) ほか

- 「気象庁海洋データ同化システム (MOVE/MRI.COM-WNP) からみた今夏の九州西方海域の表層水温フロント」井上博敬 (福岡管区气象台) ほか
 「長崎市沿岸の藻場における海洋環境の特性」種子田雄 (西海区水産研究所) ほか
 「対馬暖流の長期変動とマアジ漁場の沖合化」安藤朗彦 (福岡県水産海洋技術センター)
 「東シナ海 CK ライン上における水質分布と流動構造の季節変化」吉川裕 (京大理) ほか
 「東シナ海混合層の熱収支」万田敦昌 (長大院水・環) ほか
 「八重山列島北方の黒潮フロント域における帯状クロロフィル分布と遠距離海洋レーダ観測による表層流動場」滝川哲太郎 (水産大学校) ほか
 「黄海における冷水塊の形成と経年変動」朴松杰 (九州大学・総理工) ほか

【参加者】 48名 (敬称略、順不同)

高山勝己 吉川裕 田村勇司 渡慶次力 朴松杰 佐藤慶晴 松野健 堤英輔 山田勝雄 中村啓彦
 土橋敏博 中山浩一郎 仲井一博 寺田雅彦 濱田孝治 富石悠太 藤城義久 市川敏弘 郡山益実
 片野敏也 長谷川降真 滝川哲太郎 久木幸治 広瀬直毅 磯辺篤彦 安藤朗彦 山田東也
 富安正蔵 中村利充 加納裕二 山口創一 松永智也 小森田智大 万田敦昌 井上博敬 藤本敏文
 犬伏真子 渡辺俊輝 松尾美明 松本正純 和志武尚弥 松本泰平 明田川貴子 種子田雄 他4名

4. 後記

昨年度までの4年間、事務局は水産大学校の会員を中心に運営されてきましたが、今年度より鹿児島大学で担当することになりました。水産大学校の滝川会員他のご努力に感謝したいと思います。

事務局を交替して不慣れな面が多々あり、会員各位にはご迷惑をおかけすると思います。実際、2013年12月13日に開催された支部例会(九州沖縄地区合同シンポジウム)の開催案内を、ニュースレターを通してお伝えすることを怠っておりまして(海洋学会、水産海洋学会のMLでは流されました)。この場を借りてお詫びいたします。

本ニュースレターは支部会員および西日本海洋調査技術連絡会議会員機関へお送りしています。本支部は西南地区(山口県、九州7県、沖縄県)の海洋学の進歩普及を図ることを目的として海洋学会内に発足した組織ですが、地区内に在住しない方でも、海洋学会に所属しない方でも入会できます。お近くに、西南支部への入会を希望される方がおられましたら、ご連絡ください。今のところ、海洋学会の会員名簿を利用して、新規に西南地区へ加入・転入された方へは自動的に、また、地区外へ転出された方へも継続的にニュースレターをお送りしています。今後、本支部が西南地区の海洋学関連の情報交換の場として機能し続けるべく努めたいと思いますので、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。来年度の支部例会(九州沖縄地区合同シンポジウム)は、琉球大学の久木幸治会員のお世話で、沖縄(那覇)で開催する予定です。ご期待ください。

本ニュースレターに関するご意見や投稿したい情報等がありましたら、下記へお知らせ下さい。

日本海洋学会西南支部事務局
 鹿児島大学水産学部(中村啓彦)
 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
 電話: 099-286-4100(直通) Fax: 099-286-4015(総務係)
 E-mail: nakamura@fish.kagoshima-u.ac.jp

日本海洋学会西南支部ホームページ
<http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/oed/swb/swb.html>